

産業環境委員会報告資料

令和5年12月11日

報告事項件名	頁
(1) 令和5年度産業経済部 主要施策の進捗状況について・・・・・・・・・・・・・・・・	2
(2) 緊急経営資金（新型コロナウイルス対策資金）の受付状況について・・・・・・・・	6
(3) 小規模事業者経営改善補助金の申請状況について・・・・・・・・・・・・・・・・	9

(産業経済部)

産業環境委員会報告資料

令和5年12月11日

件名	令和5年度産業経済部 主要施策の進捗状況について																																	
所管部課名	産業経済部 産業政策課、産業振興課																																	
内容	<p>令和5年度産業経済部の主要施策について、その進捗状況を報告する。</p> <p>1 国内販路拡大支援事業</p> <p>意欲的な事業者の支援体制強化による「突き抜け」支援策として実施している当事業において、参加している全10社のテストマーケティング（展示イベント）を実施し、結果のフィードバックを行った。</p> <p>(1) 目的</p> <p>ア 消費者データを収集し、商品のブラッシュアップに繋げる。</p> <p>イ 商品、ブランドの認知拡大を図る。</p> <p>(2) 期間</p> <p>令和5年10月1日（日）から10月14日（土）</p> <p>(3) 会場</p> <p>b 8 t a（ベータ）有楽町店</p> <p>（JR有楽町駅から徒歩2分、東京メトロ日比谷駅から徒歩1分）</p> <p>※ 新しい物の発見や体験に特化したショールームで、試作品、新製品などを消費者やバイヤーに体験してもらうことができる。</p> <p>(4) 出展事業者</p> <table border="1" data-bbox="336 1211 1489 1865"> <thead> <tr> <th></th> <th>出展事業者名</th> <th>主な展示商品</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>株式会社K i K i</td> <td>日本茶</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>株式会社コーダーズ造形</td> <td>袋の口を巻いて留めるクリップ</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>ザオー工業株式会社</td> <td>金属ブロック玩具・雑貨</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>G i n p s y 合同会社</td> <td>クラフトジン</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>株式会社ハギワラ</td> <td>おからドーナツ・豆乳プリン</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>はな壺</td> <td>ポンダル（鼻緒付履物）</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>有限会社三幸</td> <td>アクリル雑貨（ステーションナリー等）</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>有限会社メニサイド</td> <td>紙布バッグ・ステーションナリー</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>らーめんしょっぷ中吉</td> <td>牛すじ煮込み（レトルト）</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>株式会社ワタトー</td> <td>五家宝（きな粉菓子）</td> </tr> </tbody> </table> <p>(5) 実績</p> <p>当施設のAIカメラが捉えた定量的な実績は以下のとおりである。</p> <p>ア 展示スペースへの来場者数 延べ11,608人</p> <p>イ 商品前に5秒以上立ち止まった人数 延べ 4,341人</p> <p>ウ スタッフが接客等を行った人数 延べ 568人</p>		出展事業者名	主な展示商品	1	株式会社K i K i	日本茶	2	株式会社コーダーズ造形	袋の口を巻いて留めるクリップ	3	ザオー工業株式会社	金属ブロック玩具・雑貨	4	G i n p s y 合同会社	クラフトジン	5	株式会社ハギワラ	おからドーナツ・豆乳プリン	6	はな壺	ポンダル（鼻緒付履物）	7	有限会社三幸	アクリル雑貨（ステーションナリー等）	8	有限会社メニサイド	紙布バッグ・ステーションナリー	9	らーめんしょっぷ中吉	牛すじ煮込み（レトルト）	10	株式会社ワタトー	五家宝（きな粉菓子）
	出展事業者名	主な展示商品																																
1	株式会社K i K i	日本茶																																
2	株式会社コーダーズ造形	袋の口を巻いて留めるクリップ																																
3	ザオー工業株式会社	金属ブロック玩具・雑貨																																
4	G i n p s y 合同会社	クラフトジン																																
5	株式会社ハギワラ	おからドーナツ・豆乳プリン																																
6	はな壺	ポンダル（鼻緒付履物）																																
7	有限会社三幸	アクリル雑貨（ステーションナリー等）																																
8	有限会社メニサイド	紙布バッグ・ステーションナリー																																
9	らーめんしょっぷ中吉	牛すじ煮込み（レトルト）																																
10	株式会社ワタトー	五家宝（きな粉菓子）																																

(6) 出展事業者へのフィードバック

ア 出展事業者から事前に提出された希望のリーサーチ内容をもとに、主に以下の内容についてフィードバックを行った。

- ① 新商品や新デザインの評価、商品開発に活用できるニーズ
- ② 商品ターゲットや価格の検討
- ③ 販路拡大における課題の整理

イ 主に、以下のような来場者の反応や声をフィードバックした。

- ① アクリル雑貨

安っぽく見える印象があったがキラキラとしてかわいいなど、アクリルに対するイメージを変えることに繋がった。端材を活用している点も好感を与えた。

- ② 紙布バッグ

「紙布」の認知度はまだ低く、技術や素材に新鮮さを与えた。価格は手ごろとの声が多い一方で、アイテムやデザインにプラスαを求める声が多いので、その点が強化ポイントと考えられる。

- ③ クラフトジン

購買意欲の高いコメントが多かったため、催事やポップアップ出展など、試飲後にその場で買える売り方が向いていると考えられる。食事との相性に関するコメントも多く、食べ合わせ提案の充実も重要。

ウ 商談を行うバイヤーの選定

上記などを参考に、商談を行うバイヤーの選定の打合せを行った。

(7) 今後の事業予定と支援方針

ア バイヤー等との商談

令和5年11月中旬から令和6年1月頃まで、バイヤー等との商談（代行も含む）を行うので、参加事業者の状況などに応じて支援する。

イ 個別コンサルティング

販路関係者との個別コンサルティングを行い、今後の戦略の見直しを支援する。

2 キャッシュレス決済還元事業

(1) 事業概要

	令和4年度 (参考)	令和5年度	
還元率	30%	20%	30%
対象店舗	資本金5,001万円以上の店舗は除く	資本金5,001万円以上の法人が運営する店舗は除く(※)	
		(※)の中で従業員数1,000人以上の事業者の全店	(※)の中で従業員数1,000人未満の事業者の全店
対象コード数(※)	約7,900	82	約8,500
還元上限/回	3,000円	2,000円	
還元上限/期間	20,000円	10,000円	
期間	11/14~12/31(48日間)	12/1~12/25(25日間)	
還元額(予算)	実績:21.3億円	19.17億円	
事務費(予算)	実績:0.77億円	0.78億円	
総予算 (還元額+事務費)	実績:22.07億円	19.95億円	
		5号補正額:11.03億円	
経済効果(決済額)	76億円	63.9億円~95.9億円	
経済波及効果	114.8億円	96.5億円~144.8億円	
たばこへのポイント付与	対象	対象外	

※ 対象コード数：各店舗に設置されている二次元コード及びレジの数

(2) たばこ販売店舗への対応

ア たばこ店、酒店、食品スーパー等を中心に、キャンペーン期間中、たばこの会計についてはPayPay決済をしないようお客様へご案内いただく旨、直接訪問して説明した(137店)。

イ その他小売店舗585店については、郵送にて上記アの内容を周知した。

※ 参考(財務省への確認内容：11月14日聞き取り)

- ① たばこ販売店舗が故意ではなく、認識不足でPayPay決済してしまった場合は、罰金や営業停止等は考えていない。
- ② セルフレジの場合、レジ係員が「たばこはPayPay決済しないように」と案内していれば問題視することはないが、店舗側が客に注意喚起することなく、PayPay決済を黙認していると問題になる。

(3) 常設サポート窓口

ア 開設期間

11月24日~12月25日

イ 利用状況(11月30日時点)

平均利用者数 124人/日 ※ 全7か所

- (4) 今後の方針等
事業終了後に店舗アンケート等を実施し、効果検証等を丁寧に行っていく。

3 「第3回レシート de 商品券事業」

(1) 事業スケジュール

店舗募集期間	令和5年12月1日～令和6年4月19日 ※ 登録店一覧(紙)掲載は令和6年1月31日まで 店舗募集(全戸配布) 12月1日～12月27日 店舗募集(団体周知) 12月～1月に実施
申請セット配布 (申請書台紙・封筒)	令和6年 3月上旬
キャンペーン期間	令和6年 3月25日～5月24日
申請受付	令和6年 3月25日～5月31日(消印有効)
商品券発送期間	令和6年 3月～8月(予定)
協力金振込期間	令和6年 6月～(キャンペーン終了後、順次)

(2) 受託事業者・契約金額

東武トップツアーズ株式会社
446,691千円

(3) 今後の方針等

登録店舗数1,500店舗を目標とし、区民がより参加しやすいキャンペーンを実現できるよう周知していく。

産業環境委員会報告資料

令和5年12月11日

件名	緊急経営資金（新型コロナウイルス対策資金）の受付状況について																																																		
所管部課名	産業経済部 企業経営支援課																																																		
内容	<p>新型コロナウイルス感染拡大による緊急経営資金の受付件数等、融資実行状況の令和5年11月末までの実績について、以下のとおり報告する。</p> <p>1 緊急経営資金等受付件数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>月</th> <th>緊急経営資金</th> <th>セーフティネット4号</th> <th>セーフティネット5号</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R2.3月</td> <td>839件</td> <td>140件</td> <td>33件</td> </tr> <tr> <td>R2年度上半期</td> <td>3,867件</td> <td>3,424件</td> <td>636件</td> </tr> <tr> <td>R2年度下半期</td> <td>1,146件</td> <td>2,225件</td> <td>469件</td> </tr> <tr> <td>R3年度上半期</td> <td>1,008件</td> <td>618件</td> <td>68件</td> </tr> <tr> <td>R3年度下半期</td> <td>1,319件</td> <td>844件</td> <td>81件</td> </tr> <tr> <td>R4年度上半期</td> <td>1,789件</td> <td>835件</td> <td>44件</td> </tr> <tr> <td>R4年度下半期</td> <td>2,006件</td> <td>779件</td> <td>39件</td> </tr> <tr> <td>R5年度上半期</td> <td>1,295件（186）</td> <td>641件</td> <td>35件</td> </tr> <tr> <td>10月</td> <td>248件（75）</td> <td>33件</td> <td>9件</td> </tr> <tr> <td>11月</td> <td>207件（61）</td> <td>46件</td> <td>5件</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>13,724件（322）</td> <td>9,585件</td> <td>1,419件</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 令和4年8月1日から、1,000万円から2,000万円への融資上限額の引き上げを実施</p> <p>※ ()内の数値は *緊急経営資金（特別借換）のあつ旋件数</p> <p>* 緊急経営資金（特別借換）とは、物価高騰等で区の緊急経営資金の返済に苦慮している区内事業者のため、新たに「保証料の全額補助」「据置期間の設定」「借換え元の元金の返済を求めない」という3つのメリットを付与し、令和5年8月1日から実施している借換え制度。金融機関に対し、申請時に事業者の強み弱み等を分析し、今後の経営に活かしていく「SWOT分析・事業性評価シート」の提出を必要とし、伴走支援を促している。</p>			月	緊急経営資金	セーフティネット4号	セーフティネット5号	R2.3月	839件	140件	33件	R2年度上半期	3,867件	3,424件	636件	R2年度下半期	1,146件	2,225件	469件	R3年度上半期	1,008件	618件	68件	R3年度下半期	1,319件	844件	81件	R4年度上半期	1,789件	835件	44件	R4年度下半期	2,006件	779件	39件	R5年度上半期	1,295件（186）	641件	35件	10月	248件（75）	33件	9件	11月	207件（61）	46件	5件	計	13,724件（322）	9,585件	1,419件
	月	緊急経営資金	セーフティネット4号	セーフティネット5号																																															
	R2.3月	839件	140件	33件																																															
	R2年度上半期	3,867件	3,424件	636件																																															
	R2年度下半期	1,146件	2,225件	469件																																															
	R3年度上半期	1,008件	618件	68件																																															
	R3年度下半期	1,319件	844件	81件																																															
	R4年度上半期	1,789件	835件	44件																																															
	R4年度下半期	2,006件	779件	39件																																															
	R5年度上半期	1,295件（186）	641件	35件																																															
10月	248件（75）	33件	9件																																																
11月	207件（61）	46件	5件																																																
計	13,724件（322）	9,585件	1,419件																																																

新型コロナウイルスに係るセーフティネット等の各申請期限について、セーフティネット4号は資金使途を借換目的に限定の上、令和5年9月30日から令和5年12月31日まで延長された。また、セーフティネット5号も令和5年9月30日から令和5年12月31日まで延長された。

※ セーフティネット保証とは

様々な突発的事由によって経営が困難（売上高等が減少）となった中小企業者を対象に、信用保証協会が通常の保証限度額とは別枠で保証を行うもの。市区町村が認定する。

【セーフティネット4号】

自然災害等の突発的災害を対象として全都道府県を指定。原則として最近1か月間及び最近3か月間の売上高等が前年同月と比べて20%以上減少している場合、保証協会が債務の100%を保証する。

【セーフティネット5号】

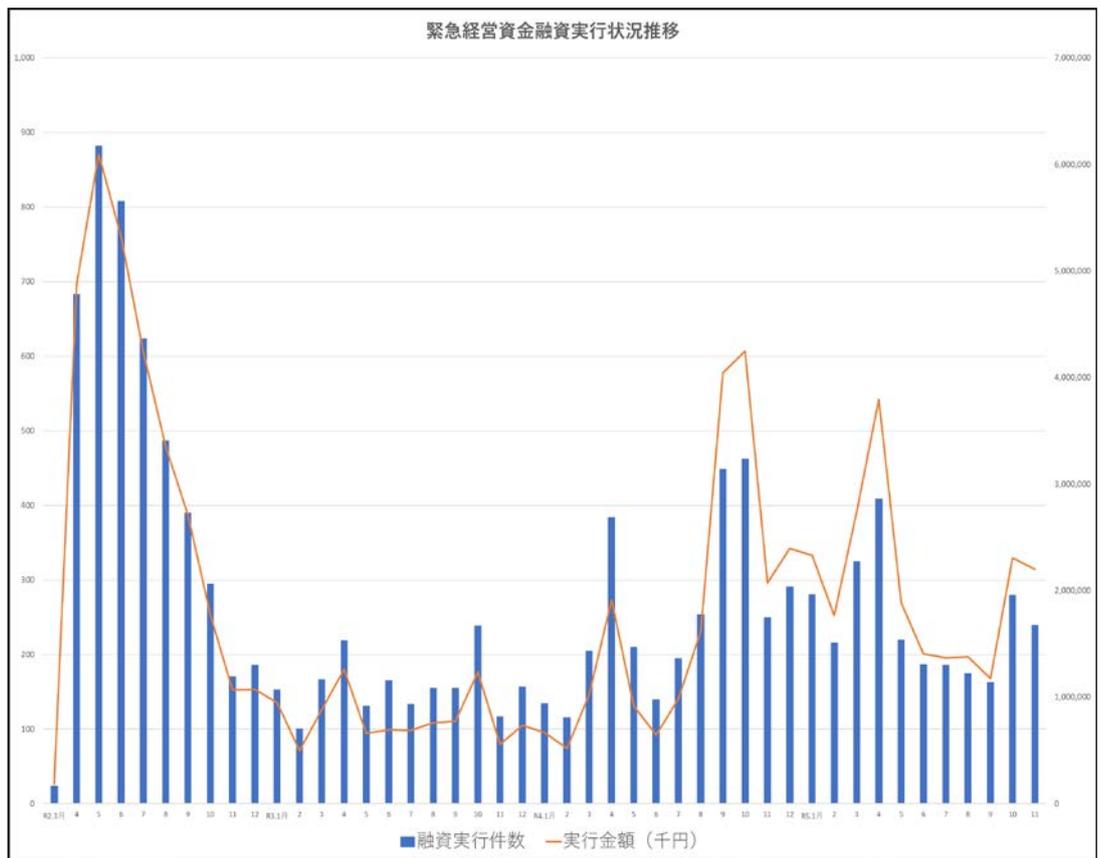
全国的に業績が悪化している業種を指定。原則として最近1か月間及び最近3か月間の売上高等が前年同月と比べて5%以上減少している場合、保証協会が債務の80%を保証する。

2 融資実行件数等

月	融資実行件数	実行金額	信用保証料補助額
R2.3月	24件	185,500千円	4,835千円
R2年度上半期	3,874件	26,592,180千円	702,840千円
R2年度下半期	1,073件	6,239,610千円	157,200千円
R3年度上半期	960件	4,838,260千円	118,356千円
R3年度下半期	969件	4,744,660千円	111,028千円
R4年度上半期	1,632件	10,124,650千円	239,819千円
R4年度下半期	1,826件	15,552,200千円	376,490千円
R5年度上半期	1,340件 (5件)	11,009,720千円 (32,000千円)	256,289千円 (716千円)
10月	280件 (89件)	2,308,310千円 (838,630千円)	52,602千円 (22,145千円)
11月	240件 (72件)	2,199,340千円 (786,350千円)	50,564千円 (19,879千円)
計	12,218件 (166件)	83,794,430千円 (1,656,980千円)	2,070,023千円 (42,740千円)

※ ()内の数値は緊急経営資金（特別借換）の実行件数、実行金額及び信用保証料補助額

※ 緊急経営資金（特別借換）は、東京信用保証協会へ借換元融資の保証料返還額を確認し、返還額と借換融資の保証料の差額を助成するため、他の融資よりも1か月から2か月程度遅れて事務処理される。よって、特別借換の当月分の実行実績は翌月分以降の実行実績として計上する。



3 今後の方針等

令和4年8月から緊急経営資金の上限額を2倍の2,000万円に拡充したことにより、令和4年度の緊急経営資金の月平均申請数は約316件となったが、令和5年4月から11月の期間では約219件と、やや落ち着きを見せている。今後も区内の経済状況を注視しつつ、引き続き区内事業者に対しきめ細かく丁寧な支援を行っていく。

産業環境委員会報告資料

令和5年12月11日

件名	小規模事業者経営改善補助金の申請状況について																						
所管部課名	産業経済部 産業振興課																						
内容	<p>経営改善計画作成を通して、区内小規模事業者の資材・燃料高騰に対応する経営力を強化するため、令和5年6月1日から相談受付を開始した「小規模事業者経営改善補助金」の申請等の状況について報告する。</p> <p>1 小規模事業者経営改善補助金について</p> <p>(1) 概要</p> <p>ア 補助上限額 200万円（令和4年度 60万円から拡充）</p> <p>イ 補助率 2/3（令和4年度 1/2から拡充）</p> <p>ウ 補助対象者数 200者（令和4年度 45者から拡充）</p> <p>エ 事業者規模：製造業、建設業、運輸業、その他の場合は20人以下、商業又はサービス業の場合は5人以下の事業者（中小企業基本法第2条第5項）</p> <p>オ 計画書作成相談受付期間：令和5年6月1日～11月30日（事前相談必須）</p> <p>カ 申請期間：令和5年6月1日～令和6年2月13日</p> <p>※ 申請件数が想定を超えたため、申請期間を1月12日から2月13日に延長する。</p> <p>2 申請件数等（11月30日現在）</p> <table border="1" data-bbox="395 1290 1402 2027"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">令和4年度（参考）</th> <th colspan="2">令和5年度</th> </tr> <tr> <th>総計</th> <th>内訳</th> <th>総計</th> <th>内訳</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>相談件数</td> <td>67件</td> <td>6月：12件 7月：6件 8月：7件 9月：9件 10月：12件 11月：21件</td> <td>472件</td> <td>6月：81件 7月：43件 8月：43件 9月：69件 10月：98件 11月：138件</td> </tr> <tr> <td>申請件数</td> <td>37件</td> <td>6月：0件 7月：9件 8月：3件 9月：8件 10月：5件 11月：12件</td> <td>230件</td> <td>6月：16件 7月：36件 8月：36件 9月：36件 10月：50件 11月：56件</td> </tr> </tbody> </table>					令和4年度（参考）		令和5年度		総計	内訳	総計	内訳	相談件数	67件	6月：12件 7月：6件 8月：7件 9月：9件 10月：12件 11月：21件	472件	6月：81件 7月：43件 8月：43件 9月：69件 10月：98件 11月：138件	申請件数	37件	6月：0件 7月：9件 8月：3件 9月：8件 10月：5件 11月：12件	230件	6月：16件 7月：36件 8月：36件 9月：36件 10月：50件 11月：56件
	令和4年度（参考）		令和5年度																				
	総計	内訳	総計	内訳																			
相談件数	67件	6月：12件 7月：6件 8月：7件 9月：9件 10月：12件 11月：21件	472件	6月：81件 7月：43件 8月：43件 9月：69件 10月：98件 11月：138件																			
申請件数	37件	6月：0件 7月：9件 8月：3件 9月：8件 10月：5件 11月：12件	230件	6月：16件 7月：36件 8月：36件 9月：36件 10月：50件 11月：56件																			

	令和4年度（参考）		令和5年度	
	総計	内訳	総計	内訳
交付 決定 金額	5,376千円	6月： 0千円 7月： 421千円 8月：1,040千円 9月： 378千円 10月：3,005千円 11月： 532千円	84,262千円	6月： 0千円 7月： 3,099千円 8月： 8,402千円 9月：14,676千円 10月：19,555千円 11月：38,530千円

3 主な申請内容

(1) 製造業

- ① 加工用機械、コンプレッサー、加工機メンテナンス
- ② 生産管理ソフト及び管理専用タブレット
- ③ 専用CAD及びCAD連動機械の修理

(2) 運輸業

- ① エコタイヤ

(3) 小売業

- ① 厨房機器、換気装置
- ② 店舗改修（壁・床・照明など）・看板改修

(4) 医療

- ① 歯科用ユニットの購入

(5) 情報通信業

- ① 動画編集専用PC
- ② AIモデル開発用ハード・ソフトの購入

(6) 農業

- ① ビニールハウスの設置

(7) 娯楽業

- ① 音楽編集用ハード・ソフトの購入

(8) その他（製造業・小売業等）

- ① エアコンの購入

4 相談時の希望補助額

平均約129万円（補助上限200万円）

5 事業者からの声

- (1) 作業を手作業から機械にすることで生産性が向上した。
- (2) トラックのタイヤをエコタイヤに交換したところ、燃費が顕著に改善された。
- (3) エアコンの更新と空調工事により消費電力が大幅に低下するとともに、店内を快適な空間にすることができた。

6 今後の方針等

- (1) 9月に配布したチラシの効果により想定以上の相談があり、6号補正にて追加予算**202,077千円**を計上した。引き続き事業者の経営改善計画作成を支援し、申請につなげていく。
- (2) 相談受付は11月30日で終了した。今後は経営改善計画作成の支援から申請まで遅滞なく補助交付できるよう、産業経済部内で協力体制を構築し、連携して運営していく。